

この概要は、令和8年2月3日に開催した「令和7年度第2回藤間家住宅主屋保存活用計画策定部会」の速報として作成したものです。

詳細については、3月19日までに公表する予定の会議録でご確認ください。

令和7年度第2回藤間家住宅主屋保存活用計画策定部会 会議録概要

議題	1 耐震補強基本設計の進捗について（報告） 2 保存活用計画の素案について（審議） 3 その他
日時	令和8年2月3日（火）13時30分～15時30分
場所	茅ヶ崎市役所 分庁舎6階 大集会室1
出席者氏名	会長 水沼 淑子 委員 小沢 朝江（オンライン出席） 海津 ゆりえ 田尾 誠敏 事務局 博物館 担当課長 須藤 格、館長補佐 和田 麻里、 主査 落合 寛 社会教育課 課長補佐 石井 芳宜 教育施設課 課長補佐 小林 秀行 株式会社ユー・エス・シー 代表取締役 兼弘 彰、 技師 西川 雄太 株式会社アルセッド建築研究所 主幹 粕井 玲
会議資料	1 次第 2 保存活用計画の素案
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0人

（会議の概要）

1 耐震補強基本設計の進捗について

事務局より、藤間家住宅主屋の耐震補強基本設計の進捗について報告しました。

委員より、文化財建造物の耐震補強の基準、地下の史跡への影響等について質問がありました。

事務局より、建造物が倒壊するまでに逃げられることを目標値としていること、地下の史跡については基礎工事の影響が出る可能性があるため社会教育課文化財保護担当と連携して適切に対応していくこと等を回答しました。

2 保存活用計画の素案について（審議）

事務局より、藤間家住宅主屋保存活用計画の素案の内容の説明を行いました。

委員より、計画の内容構成や表現の見直し、公開活用やバリアフリー対策の具体化等の意見がありました。

事務局より、委員の意見をもとに素案を一部修正し、改めて委員に確認してもらう旨を回答しました。

3 その他

事務局より、委員確認後の素案を文化財保護審議会に諮り、文化庁に提出するまでの一連の流れを説明しました。